

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

感謝の心 1年生の農業体験から

6月8日と9日の二日間、1年生が近隣の農業を営む事業所にお邪魔し、農業体験をさせていただきました。北中の皆さんのことですから、これを「当たり前」とは思っていないと思いますが、これは本当に感謝すべきことです。校長先生は、銚田南中にも勤務していたのですが、南中では農業体験を受け入れてもらえる事業所の不足から10年以上も前にこの行事ができなくなりました。これだけ多くの事業所が受け入れてくださっているということに対して、本当に感謝してもしきれないと思います。



自律 & PRIDE 正しい判断と行動を!



先日、地域の方から「額相のセブンイレブンのところから小野瀬商店に向かう道の北中生の自転車の乗り方が危険である。」という連絡を受け、各学級で自転車の乗り方を指導してもらうとともに教頭先生に数日間、指摘された箇所を見守ってもらいました。

先日の生徒総会でも話しましたが、「PRIDE」は、「自分たちできまりをつくり自分たちで守る」ということが原点です。その原点に戻り、生徒会役員には、校則の見直しをお願いしているところです。今の銚田北中生は、ほとんどの生徒がルール(校則)を守り、きちんとした生活ができています。こんなときだからこそ、皆さんの力でルールをアップデートしてもらいたいのです。時代は常に流れています。10年も20年も同じ校則が通用するとは思えません。今の時代に合った校則を考え守っていくのは皆さん自身です。一昔前は、「教師が一方向的に決めたままりを強引に守らせようとし、それに生徒は反発する。」ということがありましたが、そんなのは時代遅れです。自分たちで何が大切で何が必要のないのかをしっかりと選別・判断し、正しい行動をすることで、自律心を高めていくことが重要だと思います。

さて、自転車の乗り方のルールについては、自他の命にかかわることなので、法令で決まっています。ただ、それを守るか守らないかは各自の判断になります。「交差点では一時停止する」「道路の左側を一列で走る」「横断歩道は押して渡る」などです。これらは自動車の違反と違って、守らなくても大きな罰則はありません。しかし、ルール違反を繰り返しているといつか取り返しのつかない事故に遭う可能性があります。

正門で皆さんの登校を見守っている時に3年生が一番、横断歩道で自転車を降りて押して渡っているように感じています。高学年が模範的な行動をして、下級生が見習うというのが良い学校の特徴ですので、とても嬉しく見ていました。私が銚田北中に努めていた最後の年は1年生の学年主任をしていて、「3年生を見習え!」とよく言っていたのを思い出します。

正しい判断と行動をし、自他の命を守りながら自律心を高め、北中 PRIDE をさらに発展させていきましょう!

